



5年がかりで復元された東車塚古墳から出土の甲冑

千数百年の時超えて
甲冑よみがえる

目次

- 2～5 東車塚古墳特集
奈良大学西山教授が
副葬品などを説明
- 6～7 交野に残る正月行事・風習
- 8～9 スナップ
- 10～11 みんなのひろば
- 裏面 交野郷土史かるた

東車塚古墳 発掘調査から6年



豊富な副葬品をご紹介します

東車塚古墳（寺南野5。現在、交野高校用地内）の発掘調査から6年。最長級（8・1メートル）として話題になった割竹形木棺跡から出土した鉄製の甲冑を復元、公開されました。甲冑のうち「三角板革縹襦袢付短甲」は、全国で8例しかなく、その中でも最古級と分かり、ほかの出土品とともに、12月12日、府指定文化財に決まりました。

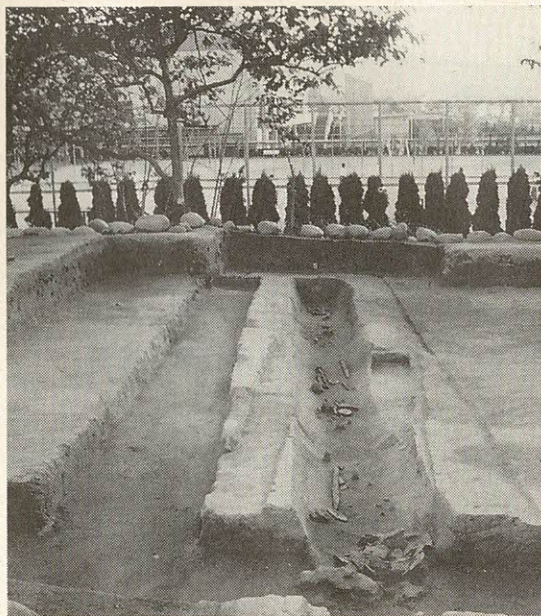
肩野物部氏 歴代の墓か

東車塚古墳

交野高校の周辺には、4世紀末から6世紀前半にかけての多くの古墳があります。昭和48年、高校の建設に先立って行われた発掘調査で円墳4基、前方後方墳、方墳各1基が確認されました。

東車塚古墳は、これらの古墳群の中で一番高いところにあります。墳丘はかなり変形していましたが、全長58メートル、中規模の前方後方墳です。

昭和63年の調査で3棺の木棺跡が発掘されました。1号棺は最大で、最深部にありま



3体を葬ってあったとみられる割竹形木棺跡（短甲は手前の部分に置かれていました）

す。2・3号棺は、その上に添わせるようにしてあります。

見方が有力です。

木棺の長さや遺物の出土状況からみて、被葬者は2〜3人と推定されます。第1被葬者は北を枕に、第2被葬者は中ほどに、第3被葬者は南を枕に葬られていたとの説もあります。

被葬者は

2〜3人

た。1号棺のしばらく後に、据えられたのです。どちらも未盗掘ですが、甲冑など多くの副葬品が出土したのは1号棺だけでした。

短甲は最古級、5世紀初めの製作

古墳時代中期の戦いで使う

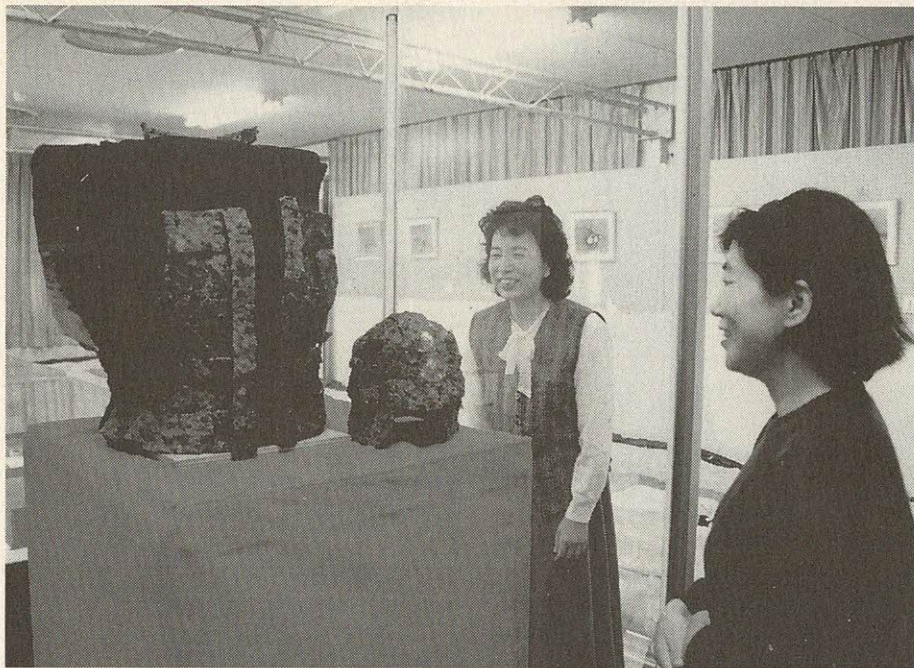
甲 冑

長26・7センチ。

三角形の鉄板を革ひもでつなぎ合わせ、帯状の板を間に挟んで補強してあります。鍔（びょう）でつないだものより古い冑です。

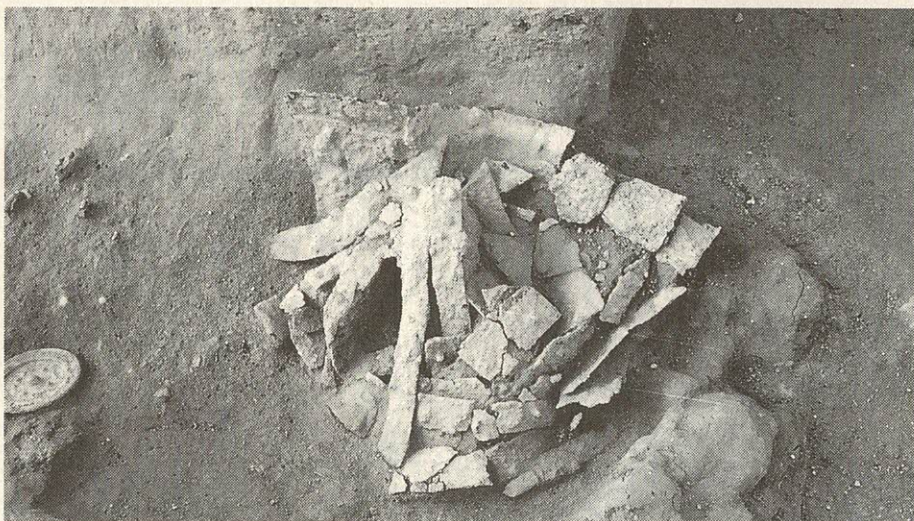
衝角とは、敵船に衝突して

〔三角板革綴衝角付冑〕
古墳時代中期の戦闘に使われた代表的な冑です。高さは13・5センチ、幅19・7センチ、前後



良好な保存 出土、全国でもわずかに8例

写真=㊸大勢の人の注目を集めた短甲と冑㊹短甲は、こんな状態で出土しました



大破させるために、舳先（へさき）に取り付けられた鋭くとがった装置のこと。冑を正面からみると、良く似ているのが分かります。
このほか、冑の頂につける三尾鉄や顔、首を保護する鍔（しころ）などが一緒に出土しています。

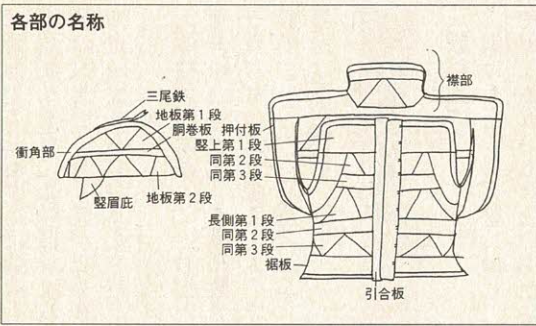
※三尾鉄は先が3つに分かれた鉄板で、3本の尾の先に鳥の羽根を刺しました。おしやれですね。

特徴 衝角が長く、後頭部まで達している。

〔三角板革綴襟付短甲〕

冑と同様に、三角形の鉄板をハッチワークのようにつなぎ合わせた鎧（よろい）です。
高さは胸部36センチ、背部48センチ、

三角形の鉄板 74枚をつなぎ合わせ



胸回り92センチ。首の周りのガードを固めるために、背の上部に襟をつけ、肩の部分が大きく張り出しています。脇（わき）の部分は、半月形の板を左右に使用、左脇は特に2枚。襟の整上（たてがみ）も1枚の半月形の板を使っているなどの特徴があげられます。
5世紀代に普及。これまでに豊中市・大塚古墳、藤井寺市・野中古墳など全国で8例（奈良県1例、大阪府内7例）、それも畿内のごく限られた地域でしかみられない珍しいものです。

特徴 小さい鉄板を数多く（74枚）使っている。製作技術面で稚拙な点がみられる。
以上の点から、この形式が採用されて間もないころ（5世紀初め）、最古級の短甲と考えられます。

短甲は、第1被葬者の頭上（北側）に、東向きに置かれていました。冑は短甲の中に納められていました。木棺が腐り、覆っていた土が棺内に落ち込み、短甲の右前胸がつぶれていました。しかし、侵入した粘土によって良好な保存状態のまま出土したといえます。

また、短甲の下につけるスカートのような防具、草摺（くさずり）の網目までが残されていました。短甲の背面を注意深く見ると、その痕跡をみつけることができます。



▲木棺のイメージ模型です(被葬者の頭部に短甲が置かれていました)

舶載鏡も出土 美しく輝く石釧は ブレスレットです

装飾品

〔舶載鏡と仿製鏡〕

鏡は3枚です。1枚は「四乳四獸鏡」で、第1被葬者の頭があったとみられる場所の東側から出土しました。

直径12・2センチ。舶載鏡(中国製)とされていますが、仿製鏡(国内産)かもしれず、現在検討中です。27文字ほどの擬銘帯が、その決め手になりそうです。

他の2枚は「獸形鏡」(直径8・7センチ)と「盤竜鏡」(直径8

同9・8センチ)です。どちらも国産。棺の中ほどから2枚重ねの状態で見つかりました。※一般的には中国製の方が錆上がりよく、ひもの穴も小さいようです。

〔石釧〕

緑色の凝灰岩製で、直径8センチ。表面には43本の線が放射状に走り、美しく輝いて見えます。

釧は、もともと手首や腕を飾る輪です。素材として貝が使われました。シンプルな放射線模様は貝の腕輪のイメージ

ジでしょう。でも、玉で作られるようになってからは、実際には使われなくなったそうです。

第2被葬者の膝(ひざ)のあたりで見つかりました。その両側には数本の鉄剣や鉄刀が添えられていました。

〔玉類〕

勾玉(まがたま)は、新潟県・糸魚川でとれた翡翠(ひすい)製2点、瑪瑙(めのう)製2点の計4点です。

管玉(くだたま)は、淡緑色や灰色の滑石製など94点。

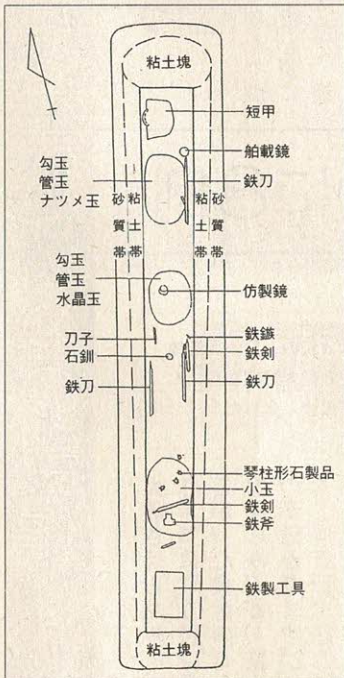
棗玉(なつめだま)は翡翠や水晶など7点。このほか滑石製の白玉(うすだま)が2700点以上もみつかりました。

〔琴柱形石製品(ことじがた)〕
滑石製の5点。琴の弦を張る、人の字形の「ことじ」に似ています。用途は不明です。

その他の遺物

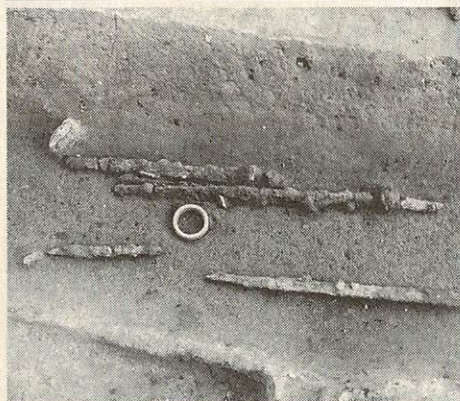
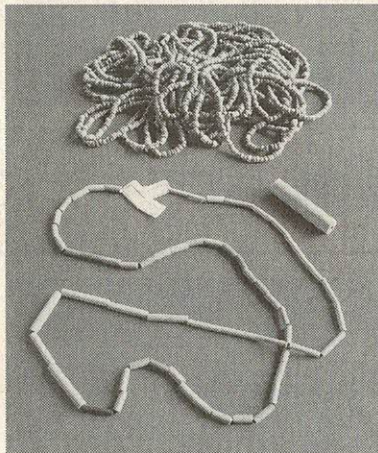
〔鉄製品〕

剣はもちろん、箸(はし)や簪(かんざし)とみられる



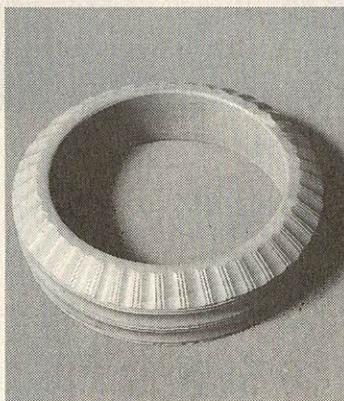
▶(上)首長の胸を飾ったネックレス

⑤銅鏡2枚が重なって出土



▲石釧は刀剣と一緒に発見されました

⑥石釧、ブランドもののブレスレットでしょうか



物(形)を形どった形象埴輪(はにわ)と円筒埴輪が出土しています。円筒埴輪はその表面のハケ目模様の種類によって時期を推定できます。東車塚古墳は4世紀末から5世紀初めとみられます。

形象埴輪では、衣蓋形(きぬがさがた)埴輪、盾形埴輪のほか、動物らしい埴輪の脚が見つかっています。

埴輪の土の分析を奈良教育大にお願いしていますが、表面の観察からは、当時の河内王朝で畿内の中心地だった古市古墳群(藤井寺市・羽曳野市)のものと同じものが出土しています。

埴輪

〔銅製品〕
巴形銅器は3点。4枚羽根の船のスクリューのような形です。直径6・5センチ。盾の飾り金具とされています。

筒形銅器は1点。長さ10・9センチ、直径2・3センチ。儀仗(ぎじょう)の頭部か、盾の柄の飾りのようです。どちらも甲冑のそばに置かれていました。

10万年前 海が入り込んでいた

交野の昔

〔交野海〕 タイムトンネルをくぐって10万年前へ……。地球は温暖化時代。海面は上

昇して、大阪平野の奥まで浸入していました。

地形からみて、現在の沖積

平野あたりが海だったようです。地図をご覧になってください。海はJR片町線まで入

り込んでいます。郡津駅・交野市駅、青年の家、4中あたりは海の中です。

昭和60年9月、松塚でマンション建設のためにボーリングしたところ、地下33メートルから

「マガキ」「ナミマカシワ」が出土しました。どちらも塩水の中で育つ貝です。この貝が存在していたのは10万年〜7万年前で、「交野海」のあったことが証明されたわけです。

〔縄文時代〕 一般的に1万2000年前から弥生時代の始まる23000年前までの約1万年の期間をいいます。ま

弥生時代 私部・倉治・郡津に集落が誕生

た、この間を草創期、早期、前期、中期、後期、晩期の6時期に区分されます。

旧石器時代と同様、縄文人は狩猟、漁労、植物採集の生活を送っていました。市内では神宮寺遺跡と旭遺跡(星田)です。

〔弥生時代〕 23000年前、北九州で稲作が始まり、3世紀には北海道を除く日本の全域に稲作農耕を基礎とする文化が広がって行きました。

4世紀になると、畿内を中心に、古墳に埋葬されるような権力者が出現。古代国家が形成されるようになります。この間の数百年間を弥生時代と呼びます。

金属器の使用が始まり、この文化は大陸からの渡来人によって伝えられました。

現在の集落の位置とは少し違います。市内の私部・倉治・郡津などは、この時期に誕生しました。

北河内・中河内の古墳編年表

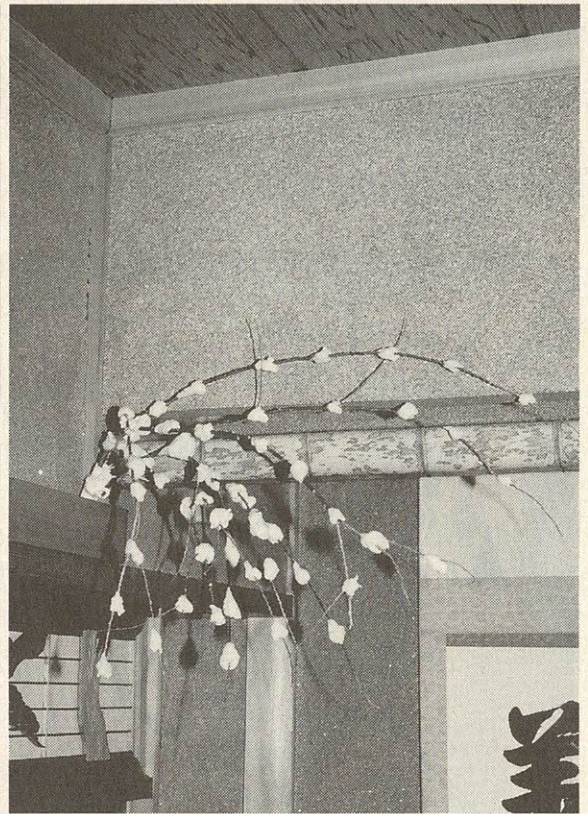
古墳時代	北河内				中河内					
	枚方地域		交野地域	寝屋川地域	大東地域		東大阪地域	八尾地域	柏原地域	
	北群	南群	南群	四條畷地域	大東地域	北群	南群	北群	南群	(大和川以北)
1期			●森1号							
2期			●森2号 ○森5号					●向山		
3期		●万年山 ●祭野車塚	●森3号 ●森4号		●忍が岡		(石切剣箭神社)			●平尾山安堂5-2号
4期		●藤田山	■東車塚				○塔ノ木	●西ノ山 ●花園山		
5期								●中ノ谷山		
6期		●牧野車塚				●塚垣内		●心合寺山		
7期			□西車塚			○堂山1号				
8期					●墓の堂					
9期			●東車塚南				○大賀世	○鏡塚	●郡川西塚	●太平寺D-1号
10期		●祭野上野 ○白塚塚		○殿山 ○猿塚	○清滝1号	●芝山	△瓶塚山		●郡川東塚	●太平寺7号
11期			倉治・寺古墳群				□五条山山畑22号 □山畑2号	○愛宕塚		

〔注〕 ● 前方後円墳 ■ 前方後方墳 ○ 大型円墳 □ 大型方墳 △ 双円墳

寺古墳や倉治古墳 後期の造営

〔古墳時代〕 3世紀末から7世紀までの間です。一般的には、古墳の立地、埋葬地とその副葬品などから、前期、中期、後期に分けられています。前期古墳は、被葬者が自分の支配地を一望できる尾根筋に属します。

中期になると、平野部の小高いところで、畿内を中心に巨大な古墳が多くなります。後期では、大陸から横穴式石室が伝わり、小規模な横穴式石室の古墳が、群れをなして造られるようになります。



パッと咲いた白い花は親指大のお餅



庭に書いた3つの輪に、お正月の文字

豊作への祈りこめ 柳の小枝に咲かす

年の瀬もおしつまり、新年を迎える準備であわただしい時期になりました。
今回は、市内の各地域に今も引き継がれている伝統のお正月の行事や風習について、いくつか紹介してみまし

餅花

みなさんの家庭では、年末の28日ごろから餅つきをされると思います。29日に餅をつくと、二十九日の「丸」が、「苦」に通じて、「苦餅」になるといって、避けたという言い伝えがあります。
現在も農業をされている家庭では、鏡餅や小餅のほかに「餅花」をつくる家庭があります。枝ぶりのいい柳の小枝

に、親指大の大きさにちぎった餅を花が咲いたように付けていきます。それを1年間、部屋に飾っておきます。
これには、米が豊作になるように、綿の花がよくふくらむようにとか、小遣いがたまるようにという祈りなどが、こめられています。

私市3-6-10にお住まいの南康之さんのお宅は、江戸時代から明治初期まで近在の農家から集めた綿の仲買を家業とされていきました。それで、今でも地区の年配の人からは屋号で「綿屋」と呼ばれ、現在も「餅花」を続けられています。
南さんのお母さんは「今は

綿関係の仕事はしていませんが、私も私市へ嫁いできてから50年になります。母が続けてこられたように、代々伝えて行きたいと思っています。柳の木が年々少なくなっているのに、餅花を作る家も減っているでしょうね」と話されています。

「河内木綿」という名前が残っているように、以前は交野でも綿の栽培が盛んに行われていたのでしょう。市内でも今なお「餅花」を作っている家庭があります。
※屋号……地方で一般に商家や家を指す呼び名

家庭が円満に おさまるよう

家の砂もち

倉治・寺・森・傍示地区で12月31日の大晦日に、家の庭先に砂で丸や棧を書くという風習が残っています。
「砂もち」とは砂を持って

くるという意味で、地域によって採取場所が決まっているそうです。この「砂もち」を作

るいわれは、家庭が丸くおさまるようとか、綿の実がたくさんなるように祈ったといわれていて、正月三が日続けられます。
そこで、森南2にお住まいの79歳のおばあさんのお宅で、この風習についてお聞きすると「私の家では、赤い砂と白い砂を使って丸い輪を3つ交わるように書くんです。父と母と子どもを意味していると親から教わりました。家族が丸くいきますようにという、まじないの印でしょうね。縁起物なので息子もやめようとはしません」と話されました。

また、倉治6-14-6、新庄敏裕さんのお宅でも現在も続けられています。お母さんの和子さんにお話を聞きました。
「数年前までは、倉治でも何軒もやっていました。庭を前栽にしたりして土庭のある家が少なくなつて減ってきました。私の家では丸を3重に書き、その中にお正月と字を入れます。家庭が丸くいくようにとか、ご近所仲よく丸くいくようにと聞いています。息子も子どもにも教える意味で続けています。私も伝統的な風習なので、これからも続けていきたいと思っています」
地域によって形は異なりますが、家庭内がうまくいくようにという祈りが秘められているのでしよう。

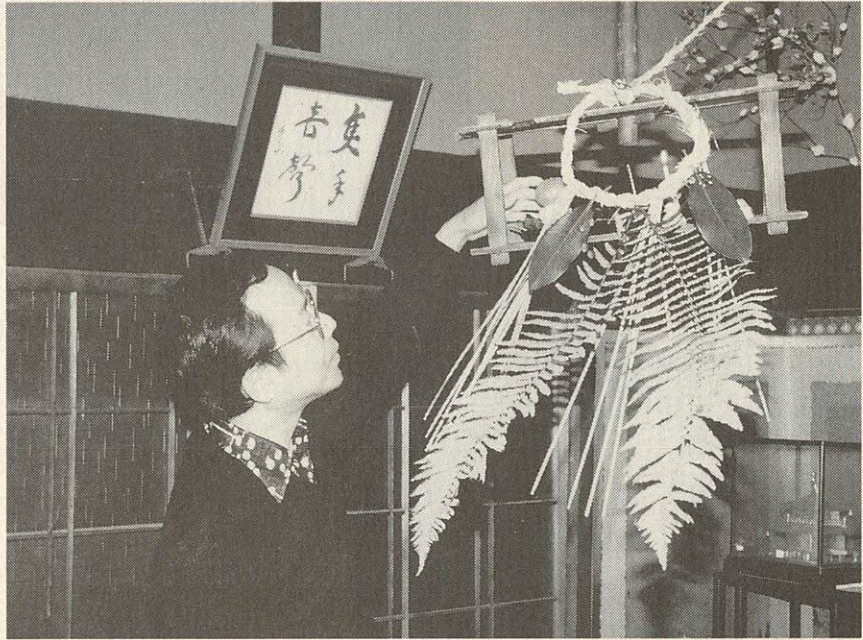
交野の行事や風習を訪ねて

引き継がれるお正月の伝統

うらじろ、鏡餅供え 恵方へ向けて飾る

とくとくさんで
年の神をお迎え

毎年、大晦日に年の神（恵方神）をお祭りする祭壇（恵方棚）を作って、神さまを迎えるという話を聞きました。前述の倉治の新庄敏裕さん宅です。干支（えと）に基づいて決まる恵方の向きに天井から棒でつるした箱棚を作りま



天井から棒でつるした箱棚につくった祭壇

す。中央に鏡餅を供え、手前左に灯明、うらじろ、ゆずり葉、しめ縄を飾ります。しめ縄は輪じめにして長さは1尺5寸

（45・4尺^寸）、3筋・5筋・7筋と順に藁の茎をよります。棚は回転できるようにになっていて、その年の恵方の向きに合わせて。和子さんは「いつから始まったのか、よく知らないんです。さいとくさんとか、とくとくさんと呼んでいます。こ



お正月の
こんな催し
参加しませんか

とくとくさんの集い

- とき 1月1日（元旦）
午前5時40分、私市・天田神社集合
- ところ 野外活動センター
- 持ち物 懐中電灯、防寒具
- ※小学校低学年以下の子どもは、保護者同伴
- 主催 私市・私市山手青少年指導員

初歩き

- とき 1月2日（月）午
前9時、宮之阪駅前集合
- コース 百済寺跡・百済王神社・禁野車塚古



穴とんど

- とき 1月14日（土）午
後7時
 - ところ 私部・住吉神社
- 正月飾りや腕が上達するようにと、子どもたちが書き初めを投げ込みます。参加者にはシノベ竹の先に小餅を刺した福餅が配られます。とんどの残り火で焼いて食べると、1年間、無病息災になるといわれています。



機物神社の大火

12月31日（大晦日）の午後6時30分から倉治・機物神社の境内で大火といつて薪が焚（た）かれます。冬至は太陽の熱が一番衰える日です。そこで、太陽の恵みに感謝して地上で火を焚いて熱を返すという、お札の意味がこめられていると言われています。大火は、1月3日

まで絶やすことなく続けられ、この灰をかぶると1年中、無病息災になるといわれています。また、同時刻から「箸（はし）たばり」という行事が行われます。巫女（みこ）から参拝の氏子に家族数の箸が授けられます。箸は家族数より一膳多く、それは神様の分が含まれているといわれています。この箸で煮しめ、雑煮などのお正月料理を食べます。

Snap Shot

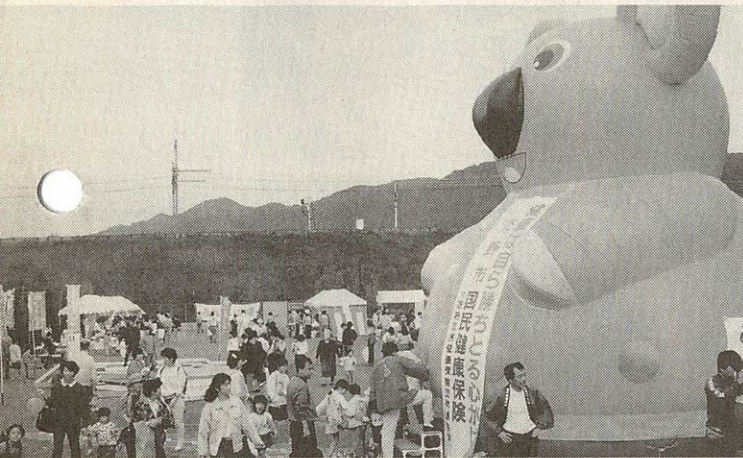
スナップ



▲ふるさとの山を美しく

11月20日(日)、ふるさとの自然を守るクリーングリーン作戦が、一般市民や団体3,238人が参加して行われました。

3ブロック・12ルートに分かれて、ハイキングコースや史跡・景勝地などを清掃しながら歩きました。収集したごみは8ト(燃えるごみ4ト、粗大ごみ2トなど)もありました。



◀健康福祉フェスティバルに5,000人

11月13日(日)、ゆうゆうセンターで第2回交野市健康福祉フェスティバルが開かれ、5,000人の人出でにぎわいました。

今年のテーマは「共に生き、共に支える健康福祉」。コンピューターを使った足の裏健康度測定会場やふあふあエアマットのあるちびっ子コーナーには、長い行列ができました。



▶元気いっぱい研究発表

11月16日(水)、ゆうゆうセンターで第3回交野市学校保健会研究大会が開かれ、長宝寺小学校6年生、黒田和秀君ら9人と永瀧良子養護教諭が、日ごろの遊びや運動、児童の様子など、2年間の研究を発表しました。

同小学校では、他の学年との交流会を増やし、児童にタテのつながりが生まれ、遊びも活発になっています。





11月23日(祝)、「天の川」をテーマにデザインされた交野市駅西駅前広場と新駅舎がオープンしました。

前日のオープンセレモニーには、関係者ら120人が集まり、市立くらやま幼稚園児たちが、モニユメントの除幕とテープカットを行いました。同駅一星田駅の無料バス試乗会には、買い物にきた人たちが500人が乗車しました。

◀交野市駅西駅前広場がオープン

11月25日(金)、星の里いわふね体育室で市内小学校の連合音楽会が開かれました。

他の学校の児童との交流が目的で、今年で8回目。各校のレベルも高まり、保護者や先生ら800人から盛大な拍手が起きました。

「よその学校はうまいなあー」とため息をつく児童もいました。

▼うまく見えます、よその学校



▲もぎたての甘いカキ

11月16日(水)、きさべ作業所の入所者と指導員ら16人が、民生・児童委員協議会(富田利一総務)に招待され、青山5丁目の畑でカキ狩りを楽しみました。

この日を心待ちにしていた入所者たちは、次々に枝からもぎ取り、笑顔でほうばっていました。

▶交野市老人介護者(家族)の会結成

11月19日(土)、自宅で寝たきりや痴呆症のお年寄りを介護している人たち70人が、ゆうゆうセンターで、交野市老人介護者(家族)の会結成総会を開きました。

お互いに手をとりあって問題を解決していこうというのが目的で、オムツの共同購入や交流会を計画しています。問い合わせは、高齢者対策課(☎93・6400内線611)



みんなのひろば

募集



女子サッカー部員

毎週火・木曜日午後6時30分～8時、2中グラウンド。毎週土曜日(第3を除く)午後3時～5時、私部公園多目的グラウンド。初心者大歓迎。市サッカー連盟公認女子コーチの指導で、楽しくサッカーをします。入会金1000円(傷害保険代)。月会費中学生(無料)、高・大学生500円。主催は交野フットボールクラブ・レディース。申し込みは直接練習会場。問い合わせは山本さん(☎92・4512)

社交ダンスの練習

毎週木曜日午後7時～8時30分、市役所別館3階コミュニティフロア。初心者歓迎。基礎から練習します。指導はA級プロの檜崎、井上さん。定員20人。入会金2000円。月会費3000円。申し込みは会場。主催はエレガンス。問い合わせは松本さん(☎92・2726 夜7時以降)

ホストファミリィ

関西外国語大学(枚方市)は、1月下旬に来学する外国人留学生の受け入れ家庭を探しています。
○期間 1月下旬～5月末
○謝礼 月額6万円(2・3月は別に暖房費8000円)

ハイキング

○食事など 特別に作る必要はありません。ふるもトイレも同じです
○問い合わせ 同大学国際交流課(☎51・6751)

新春の石清水八幡宮

1月7日(土)午前9時、交野市駅集合(雨天中止)。興聖谷不動・石清水八幡宮・松花堂。弁当、交通費など自弁。参加費2000円。主催は交野ちよつと行く会。問い合わせは北島さん(☎92・1164)

訪台野球チームに阪長君



交野タイガース(硬式)の阪長員令君(交野小6年)が、訪台少年親善野球チームに選ばれました。12月25日(日)から30日(金)まで、高雄、台南、嘉義、台北を訪問、地元の選抜チームと対戦します。今回のチームには、さる8月に開かれた日本少年野球連盟の全国選手権大会に出場した関西8チームから16人が選ばれました。阪長君は投手として活躍しました。

音楽に合わせて ストレッチ体操 とエアロビクス

健康づくりのための体操いろいろ

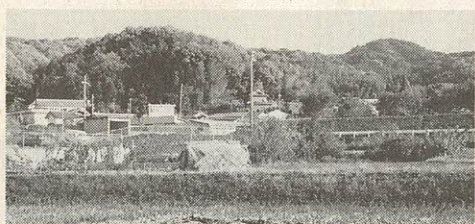
音楽に合わせて、普段あまり使っていない筋肉を伸ばしたり、楽しく体を動かしてみたりしましょう。
固まった筋肉がほぐれ、全身の血液の流れが良くなり、快い気分になれるはずですよ。
○とき 1月17日、24日、31日、2月7日(火)
午前10時～正午

- ところ ゆうゆうセンター 3階運動療法室
- 講師 健康運動指導士・津留容子さん
- 定員 市民30人
- 持ち物 タオル、健康手帳
- 費用 無料
- 受付 1月10日(火)午前9時から健康増進課
- 問い合わせ 同課(☎93・6405)



もり森

▼正面の丘陵に古墳が散在しています



須彌寺復興の神官たたえて

森という名前は、圓通山須彌寺沿革誌によりますと、貞観3年(861)、石清水八幡宮警固観世音菩薩(十一面観音)を安置した

無垢は白無垢のように純粹、まじり気のないという意味ですが、棕の木が多いところからつけられた感じが強いようです。
昭和55年1月、岩船小学校の児童が森の山から円筒植輪や土師器の壺の破片を見つけました。その後の調査で前方後円墳4基、円墳1基の存在が確認されました。

同寺の観音堂が老朽化。同八幡宮の神官・森宮内少輔公文という人が、延久年間(1069～1074)にお堂を再興しました。

自身も男山に登って御宝殿に納められている四十八臂の観音霊像をいただいて祭り、寺の名も石清水寺と呼んだそうです。

村人は信仰を深めると

一番大きい1号墳は海拔140m余りの高さにあつて、しかも前方部の先端がバチ形に広がった前方後円墳で、築造は3世紀末から4世紀初めで、古式古墳と呼ばれる珍しいものです。
森村は、弥生時代に南山遺跡、森古墳群、大規模集落と考えられる森遺跡があつて、交野の里で大いに稲作文化が栄えたことを物語っています。
(中 光司さん 郡津4)

催し

木版年賀状教室開く

11月15日(火)、青年の家で手作り木版年賀状教室(体育文化協会主催)が開かれ、25人が参加しました。

講師はおなじみの小田又治郎さんです。トレーシングペーパーとカーボン紙を使って、版木に元絵を裏返しに写し、



ナイフで縁取りして彫刻刀で彫ります。のりと水と絵の具を混ぜて塗り、刷ります。

みなさんの選んだ絵柄は来年の干支(えと)イノシシが多いようでした。

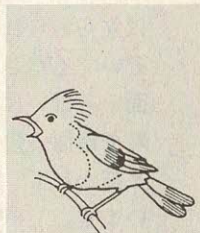
チャリティーダンス

1月8日(日)午後5時30分

〇とき 1月14日(土)午前9時30分、河内

バードウォッチング

〇コース 森駅集合
天田神社―野外活
9時30分、市役所別館ホール。定員市民60〜80人。参加費500円。余剰金は善意銀行に預託。申し込みは直接会場。主催は交野ソシアルダンス友の会。問い合わせは宇津宮さん(☎91・7217)か、藤井さん(☎91・5814)。



〇コース 森駅集合
天田神社―野外活

♪こんにちは月



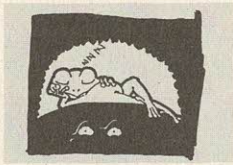
おおえ ともき
大江 友貴 です

平成5年12月17日生まれ

「貴い友をたくさん作ろう」

私部 (母 美香)

いきものふれあいの里 1月の見どころ



生き物にとっては厳しい季節です。

草も木も、チョウもトンボも、カエルもへびも幾千万年の積み重ねた知恵を生かして、冬を生き抜こうとするそれぞれの姿が見られます。落ち葉の散り積もった山道を歩いてみてください。

植物 すっかり葉を落としたコナラの林の中で、木そのものと向かい合うと木が話しかけてきます。交野山の東斜面のツバキの群落にはメジロやヒヨドリの群れが訪れています。

野鳥 冬を活発に生きているのは野鳥たちです。センター周辺はミヤマホオジロ・ウソ、その他の冬鳥たちや常連のメジロ・シジュウカラ・イカルなどで、いつもにぎやかです。白旗池には、この夏から住み付いたアオサギが、筏に乗って魚をとるのを観察室から見られます。

その他 センターには竹工作の昆虫たちが並んでいます。その中のスズムシはリーン、リーンと鳴いています。嘘かまことか、一度来て確かめてください。

市の人口(11月末現在)

人口	70,838人
男	34,972人
女	35,866人
世帯数	22,989

火災と救急(11月分)

火災	1件
救急	123件

- 〇対象 小・中・高校生、保護者
- 〇講師 交野野鳥の会 渡辺晋一郎さんほか
- 〇持ち物 弁当、筆記具、あれば図鑑、双眼鏡
- 〇申し込み 直接会場
- 〇問い合わせ 同センター(☎93・6520)

1月の相談室(無料)

弁護士、人権擁護委員ら専門家が担当します。お気軽に、ご相談ください。

- 法律相談** 6日(金)、12日、19日、26日(木)13時〜16時、市役所別館。定員6人。当日9時30分から電話で予約してください(☎92・0121 内線281)
- 夜間法律相談** 26日(木)18時〜21時、市役所別館。定員6人。予約をしてください
- 行政相談** 14日(土) 星田出張所 27日(金) 市役所別館
- 税の相談** いずれも13時〜16時 16時、市役所別館 18日(水) 13時〜16時、市役所別館 11日(水) 13時〜15時、市役所別館
- 登記相談** 10日(火) 13時〜16時、市役所別館
- 警察相談** 10日(火) 13時〜16時、市役所別館
- 人権相談** 19日(木) 13時〜16時、星田出張所
- 交通事故相談** 第2火曜日10時〜15時、市役所別館
- 消費者相談** 毎週月・水・金曜日10時〜正午と13時〜16時、市役所
- 障害者福祉相談** 毎月第1、第3水曜日13時〜16時、ゆうゆうセンター
- 母子寡婦福祉相談** 毎週月・木曜日9時〜正午、13時〜17時15分、ゆうゆうセンター
- 健康相談** 毎週水曜日10時〜11時30分、ゆうゆうセンター
- 結婚相談** 毎月第2、第4水曜日13時〜16時、ゆうゆうセンター
- 園芸相談** 毎月第3木曜日13時〜16時、市役所別館
- でんわ育児相談** 毎週水曜日 あまだのみや幼稚園 ☎92・1351 毎週木曜日 あさひ幼児園 ☎92・0206 毎週金曜日 くらやま幼児園 ☎92・8433
- 児童相談** いずれも13時〜15時 毎週木曜日10時〜正午、ゆうゆうセンター
- 家庭児童相談** 毎週水・木曜日10時〜正午、ゆうゆうセンター
- 教育相談** 毎日(祝日を除く)10時〜16時30分、教育センター(長宝寺小学校内) ☎92・8627
- でんわ健康相談** 毎日(土曜と休日を除く)9時〜正午、13時〜17時、健康増進課(☎93・6405)

交野郡衙の郡倉が立ち並んでいた郡津くらやまの東に続く丘陵に、郡司の建立した白鳳期の寺院長宝寺がありました。今も1300年前の古瓦が出土しています。

郡衙とは郡の役所。郡倉とは倉庫のことで、「くらやま」という小字名が残っています。郡津は、官庁街と物流センターをミックスしたようなところで、大いににぎわったようです。

昭和51年、白鳳時代の特徴を持つ「単弁八葉蓮華文」と「忍冬唐草文」の2枚の軒丸瓦が出土し、寺院の位置は、現在の郡津神社付近と推定できました。でも、寺院をしのぶものは、この瓦だけで、郡衙跡もみつかっていません。

また、かるたの説明と違って、長宝寺は江戸時代の寺の名前で、白鳳時代には何と呼ばれていた寺か、分からないそうです。

でも、その権勢を誇った様子は絵画として残っています。市役所に立ち寄られたときは、別館をのぞいてください。ロビー右手の壁面いっぱいに、交野山を望んで寺院や郡衙、倉庫に集落が生き生きと描かれています。

ち

長宝寺

瓦は語るその偉容

